

会 議 録

会 議 名	令和5年度 第3回東松山市子ども・子育て会議					
開 催 日 時	令和6年2月14日(水)			開 会	15時00分	
				閉 会	17時00分	
開 催 場 所	東松山市総合会館 3階 302会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 協議事項 ①きらめきクラブたかさかの利用定員について ②第3期ひがしまつやまこども夢プラン ニーズ調査の結果について 5 その他 6 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0名		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	峯 岩男	出席	委 員	大辻 猛	出席
	副会長	田中 美智子	出席	委 員	岡部 洋	出席
	委 員	岩本 教裕	出席	委 員	関口 恵子	出席
	委 員	細野 彰	欠席	委 員	庭野 さやか	出席
	委 員	山本 和順	欠席	委 員	岡部 菜摘	出席
	委 員	川口 明子	出席	委 員	前田 菜摘	欠席
	委 員	木村 貴世	出席			
事 務 局	子ども家庭部部長 神庭 法子		子育て支援課副課長 高瀬 裕昭			
	子ども家庭部次長 田島 裕之		保育課副課長 山崎 恵子			
	子育て支援課課長 大石 和夫		子育て支援課主査 飯塚 規文			
	保育課課長 阿部 康裕		子育て支援課主査 小山 亜耶			

次 第	顛 末
1 開 会	事務局：大石課長
2 あいさつ	峯会長
3 自己紹介	委員及び事務局自己紹介
4 協議事項	<p>(峯会長) 協議事項に入る前に、本日の会議における会議録署名委員を指名させていただきます。川口委員と岡部（洋）委員をお願いします。</p> <p>(川口委員と岡部（洋）委員 了承) 次に、本日の会議の公開について確認いたします。</p> <p>本日の協議事項は非公開とする内容はなく、公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承) 異論がないようですので、本会議は公開とします。</p> <p>事務局に伺います。本日傍聴人はいますか。</p> <p>(事務局) おりません。</p> <p>(峯会長) それでは、協議事項① きらめきクラブたかさかの利用定員について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局：阿部課長) －資料1に基づき、きらめきクラブたかさかについて説明－</p> <p>(峯会長) この件について、御意見、御質問等はございますか。</p> <p>(峯会長) プレハブはこのままですか。</p> <p>(阿部課長) プレハブ自体は令和4年度に建築済みで、今回は、一人当たりの必要面積に応じて定員の見直しを行うもので、施設の拡張をするものではあ</p>

りません。

(田中委員)

今回、ニーズが多いために人数を増やしているのですか。

(阿部課長)

はい。高坂小は児童数が多いのと、学童の希望者が多いためです。令和4年度の開設当初は待機児童はおりませんでした。利用希望者が増え、令和5年度は年度当初から待機児童がおります。

(木村委員)

前から待機児童はいるのですか。

(阿部課長)

きらめきクラブたかさかについては、令和5年4月は18名、現在2月時点では1人となっております。

(木村委員)

待機児童1人とのことですが、アンケートを見ると、学童に入れない方が多いように感じます。学童は4年生までですか。

(阿部課長)

学童の入所にあたり学年の制限は設けておりません。

(木村委員)

そのわりに、高坂地区で4年生以上になると学童に入れないとの記載が多いように感じます。

(阿部課長)

選考の際、学年が上がると加点が少なくなるため、入所しづらいことはあります。

(木村委員)

希望すれば4年生以上でも入所ができるのですか。

(阿部課長)

空きがあれば学年に関わらず入所できます。

(木村委員)

点数により入れないのはわかるのですが、4年生以上でも長期休みが心配で学童に入りたい場合は、待機児童となるのですか。

(神庭部長)

アンケートに記載された内容は恐らく年度当初の御意見だと思いません。待機児童とは、学童の入所希望があるにも関わらず、入所できなかった児童のことを言います。学童の入所審査の際には学年加算を行い、1年生は18点、4年生からは6点、5年生4点、6年生2点となり、4年生以上の入所が難しくなります。

年度当初の入所希望者は多いのですが、夏休みを過ぎると退所児童も多くなり、年度後期になると待機児童は少なくなります。

(木村委員)

数的には足りているのですか。

(神庭部長)

地区によって状況は異なります。そのため、夏休みは特例として、学校区域を越えて学童の利用ができるようにしております。

(木村委員)

アンケートについては、年度当初のことということですね。わかりました。

(峯会長)

ありがとうございました。それでは、ほかに何かありますか。

特にないようでしたら、この議題は終了とさせていただきます。

続きまして、協議事項② 第3期ひがしまつやまこども夢プラン ニーズ調査の結果について、事務局から説明をお願いします。

(事務局：飯塚主査)

－資料２・３に基づき、第３期ひがしまつやまこども夢プランニーズ調査 就学前児童の保護者アンケートの結果について説明－

(峯会長)

この件について、御意見、御質問等がございますか。

(田中委員)

アンケートから保護者の要望が多いことがわかりました。特に、相談窓口を必要とされているように思えます。相談窓口の周知がどのくらいされ、利用できているのでしょうか。周知が足りないのではないのでしょうか。

(峯会長)

御意見は様々ありますよね。解決できる・できないはこれから検討をしていきましょう。

核家族化が進み親子で子育てをしている方が増え、また、地域コミュニティが希薄化しております。外から来た方がその地域に馴染むのに時間・空間が必要です。だから子育てに悩んでしまい、このような結果に繋がってしまっているのかもしれないですね。本人の性格により、声をかけても話をするのが苦手な人、地域と馴染むのに時間がかかる人がいて、そのような人が今回意見を出しているのかもしれないですね。できるだけ情報公開をしていく必要があるのかもしれないですね。

４９ページ問１４、幼稚園・保育園の平日の利用について、利用していない人が２８．６％ですが、これは０歳・１歳が多いのかと思います。

ほかに何か御意見ありますか。ないようでしたら、小学生の保護者アンケート結果について説明をお願いします。

(事務局：飯塚主査)

－資料４に基づき、小学生の保護者アンケートの結果について説明－

(峯会長)

この件について、御意見、御質問等がございますか。

(田中委員)

アンケートを見ると、困っているんだな、言いたいけど言えるところがないんだなということがわかります。相談相手がいなくて苦しんでいる人はいるのだろうけど、AIやラインを使って一日中対応できるようにするにも無理がありますし、何をしてあげられるのでしょうか。

小学校・中学校の先生についての記載も多くありますよね。関係性について心配になりました。

(峯会長)

親も少し困ったことがあるとそのまま記載してしまう。自分の努力で情報を得た上で、それでもわからないことを記載するのも大事かと思います。自由記述は何でも意見が出せて良い反面、変わった意見も出てきてしまいます。大人として、親として、社会人として等、それぞれの立場で見て、これこそ必要だという意見を取り上げ、精査し、まとめていく必要があるかと思います。

(木村委員)

小さいうちはソーレ、マーレやサロンに参加し、子どもを遊ばせるよりはオムツのサイズや衣類のこと等、小さな話題を聞いてほしいというケースが多いです。小学生は松二小で居場所づくりを行っていますが、そこに参加するママから相談を受けることがあります。学校に行き渋っているとか、お子さんと何を話したらよいのかかわからないと相談があります。子どもにどう対応したらよいのか、子どもももっと甘えたいのに我慢をしてしまうなど、家族の作り方がぎくしゃくしているように感じます。相談してもらえばアドバイスができ、ママも聞いてくれて良い方向に行くので、気軽に話ができる環境は大事だと思います。

(峯会長)

親子が接する時に自然と会話が出てこないのは、親が体も心も疲れて思考が停止していると思われれます。発せられる一言から、どのような社会にしていくのか検討していかなければなりませんね。

気になった点で、中学生アンケートの中で、夢中になれることとしてママと話をしている時と記載があります。子どもはママと話をして癒されたいと思っているけれど、ママに要求したらママが大変だと思っているのでしょうか。子どもの切実な気持ちを汲み取れるような環境を整えて

いく必要があるのではないのでしょうか。

(事務局：飯塚主査)

－資料5に基づき、小学生アンケートについて説明－

(峯会長)

小学生は遊びたく、とにかく公園ですね。公園も自分にとって良い公園ということで色々な意見がありますね。

(事務局：飯塚主査)

－資料6に基づき、中学生アンケートについて説明－

(峯会長)

この件について、御意見、御質問等がございますか。

(田中委員)

自由記述欄で心の中が気になる意見もありますよね。

(峯会長)

心の本音が出ているとしたら注視する必要がありますよね。

子どもを持ちたくないという意見が4分の1あり、この先少子化が続いてしまいます。なぜそのような気持ちになるのか調査する必要もあるかもしれませんね。

夢中になれることで、メール・ラインをしているときという回答がありますが、これが今後どのように繋がるか気になります。きょうだい・家族と遊んでいるときと回答があるのは救われますね。

(木村委員)

今の中学生は反応や感情の喜怒哀楽が少ないように感じます。今年度も赤ちゃん抱っこ体験を実施しておりますが、生徒からかわいらしい疑問・感想が出てきます。どの子も赤ちゃんを目の前にしてすごく新鮮な表情をしており、よい機会であったと思います。携帯では伝えられるのに対面では伝えられない、全体的にコミュニケーション力が低下しているように思えます。話をすればできるのに、話をするきっかけが難しく、表情も乏しい。これは家庭に何か問題があるのでしょうか。4分の1の

子どもを持ちたくない子に対し、これからも積極的に赤ちゃん抱っこ体験を実施していきます。

(田中委員)

私の園でも多くの方に赤ちゃん抱っこ体験の協力をいただいております。とても良い機会ですので、市内すべての中学校で実施していただきたいと思います。

(峯会長)

コミュニケーション力が不足している、表情が乏しいというのは感性が養われていないということです。これに警鐘を鳴らしている方がおります。言語環境を貧困にする要因が2つあります。1つ目は、電子ベビーシッターやスマホの普及です。いつでもどこでも電子ベビーシッターで会話の必要がありません。この環境に子どもも慣らされていったら親子の会話はなくなります。2つ目は長時間労働による長時間保育です。保育園の11時間は長すぎます。電子シッターに頼り、最近はテレビを消すと赤ちゃんが泣く、ゲームを取り上げると幼児が暴れるという現象さえ生じているのです。そんな環境で感性は育ちません。2つ目の長時間労働は会話の質を低下させます。親が疲れて思考が停止してしまうので会話が成り立ちません。このような状況はいち早く改善しなければなりません。学力低下、読み取る力が低下しています。これは、小さい頃からの遊び不足や親子の会話の不足が要因となっています。そして、親子に限らず周りとの関りを意識していかないといけません。これを提唱しているのはアメリカの学者、ダナ・サスキンドで、今、注目しているのが3000万語の格差です。親子が日々3000万語くらいの会話を意識することが大切と言われています。会話不足が子どもたちの能力にも影響を及ぼしているのです。

ほかにございますか。

(関口委員)

子どもアンケートの夢中になれることにゲームの回答が多いですが、本当にゲームが楽しいと思っていないのではないかと思います。楽しくはないけど夢中になれるのかと思います。親が忙しく、テレビやスマホを与えておけば子どもは良いと思い、気軽に与えすぎているのだと思いま

す。

働かなければならない環境さえなければ、わざわざ子どもを預けてまで働かないと思います。少しでも短時間労働につながるように費用をまわせると良いなと思いました。

また、気軽に相談できる場所がほしいと多くありますが、「気軽」とはどういうことなのでしょう。昔であればとなり近所に話ができる人がいれば安心というのがあったと思いますが、今はポチっとすることが気軽と考えているのではないのでしょうか。これは勘違いも生じていて、話しかけてはいけないと思っているのではないのでしょうか。そんなことはないんだよと周知できる方法はないのでしょうか。

(峯会長)

これは核家族化、地域コミュニティーの希薄化が影響しておりますよね。コミュニティーとは心と心の問題であり、みんなが優先し大切にしていこうとしないと改善されないと思います。

(木村委員)

ウエルカムベビー訪問はとても歓迎してもらえ、多くの困りごとを拾えています。長く活動していると顔見知りも増え、別の地域の行事でお会いした時に声をかけていただくこともあります。そこから地域のサロンや赤ちゃん抱っこ体験につながると良いなと思っております。

(峯会長)

日本には良い制度がたくさんありますよね。日本には言語問題を解決する機関や資源があるのです。母子父子手帳、新生児訪問、4か月健診、母子健康システムもありますよね。ほかに、ソーレやマーレのような未就園児の親子を支援する子育て支援センターが全国 7,000 か所にあります。また、28,000 か所の保育園・こども園を0歳から3歳時の親は多く利用しております。そういったことを踏まえ、ただ保育するだけでなく、親と子どもをどう育てていくか責任を持ってやること、運動・栄養・睡眠に加えて言葉という新しい視点を母子保健に組み込むことで、保健システムの質の幅を広げることができるのです。今あるものにプラスすることで有効活用できるという視点が必要で、保健師や小児医師が新生児訪問や4か月健診で、保護者や子どもに対して話しかけることや、赤ちゃんの喃語に応えることが子どもの脳を育てるために重要であり、そ

